

各位

2018年2月8日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成29年12月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)、KNT 個人旅行、クラブツーリズム、KNT 北海道、KNT 東北、KNT 中部、KNT 関西、KNT 中国四国、KNT 九州、ユナイテッドツアーズ、KNT-CT グローバルトラベル、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比100.2%と前年を上回ったが、学生団体は同79.1%と前年を下回り、団体旅行合計で同88.8%と前年を下回った。企画旅行については前年比105.9%と前年を上回り、個人旅行については同105.2%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比100.5%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比95.1%と前年を下回ったが、学生団体は同102.5%と前年を上回り、団体旅行合計で同100.0%と前年並となった。企画旅行については前年比89.9%と前年を下回り、個人旅行については同94.1%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比93.9%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比96.8%と前年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の12月の総取扱額は前年比95.8%となり、前年を下回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、アメリカ本土方面などの取扱人数の増加による取扱単価の拡大などにより、前年比100.2%と前年を上回った。学生団体は専門学校などの研修旅行の取扱が増加したが、修学旅行の取扱人数の減少により、同79.1%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比88.8%と前年を下回った。

企画旅行については、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、ハワイや台湾方面などが好調に推移し前年を上回ったが、ミクロネシアやアメリカ、オセアニア、ヨーロッパ方面などが前年を下回り、取扱額で前年比89.3%と前年を下回った。クラブツーリズムはオセアニアやインドネシアなど不調な方面があったが、全般的に概ね好調に推移した。商品別ではひとり旅やテーマ旅行が好調を維持し、取扱額で前年比113.2%と前年を大きく上回った。この結果、海外企画旅行で前年比105.9%と前年を上回った。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比100.5%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、前年の大型訪日団体旅行の取扱の反動減により、前年比96.8%と前年を下回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、親睦旅行などの取扱人数の減少により、前年比95.1%と前年を下回った。学生団体は、修学旅行などの取扱人数の増加により、前年比102.5%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行で前年比100.0%と前年並となった。

企画旅行については、メイトは方面別取扱人数の状況で、中国や四国方面などが前年を上回ったが、甲信越方面を中心に前年を下回り、取扱額で前年比90.7%と前年を下回った。クラブツーリズムは、バス旅行部門は全般的に低調であったが、仙台や関西発などは堅調に推移した。バス旅行を除く国内旅行部門は北東北や山陰・山陽方面などが堅調であり、四国方面も好調に推移したが、関西や北陸、東海、伊勢、南紀方面などの不調が影響し、前年比88.2%と前年を下回った。この結果、国内企画旅行で前年比89.9%と前年を下回った。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比93.9%と前年を下回った。

以上